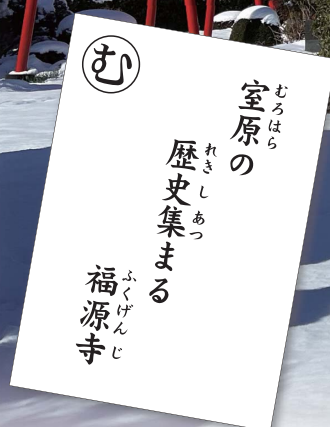




議会QRコード



マチイロ

スマホでようろう議会だよりが読めます

臨時会・定例会での主な質疑	…	2
常任委員会・特別委員会報告	…	3
こんなことが決まりました	…	4
町の考えを問う(7議員が一般質問)	…	5
あれから「地域振興イベント」は どうなったんやぁ～	…	11
第8回子ども議会 参加者インタビュー	…	12
未来へつながれ養老町(第5回)	…	14
子どもの声(第6回)	…	14
議会ニュース	…	14

未来へつながれ 養老町 第5回

養老町で活躍する団体の活動内容等をご紹介します。

★ 養老町モルック協会 ★



フィンランド生まれの“モルック”。これは老若男女、障がい者も含めたあらゆる人たちが同じフィールドで楽しめる軽スポーツです。モルックと呼ばれる木製の棒を投げて、スキttlという12本の木製のピンの倒れ方で点数を加算していき、50点ピッタリにする競技です。

養老町スポーツ推進計画が目指す基本理念を「1町民1スポーツのまち・養老」と定め、すべての町民がスポーツに親しむことで、心身ともに健康で、地域とのつながりを深めることができるようにとしています。また、町として町民一人ひとりが自分にあったスポーツを選択し、継続的に親しめるように支援していくことが求められています。そこで、モルックの普及によって、町の観光にも貢献でき、生涯スポーツを推進することを目的に、令和4年2月に養老町モルック協会を結成しました。これまで養老町モルック大会を3回実施しました。町内はもとより県外からの参加者も多数あり、養老町の名前も覚えていただけたのではないかと、観光振興の一役を担う事ができたように思います。現在では西濃モルック協会を立ち上げ、大会も3回開催されました。公認指導員10名、公認審判員6名が在籍しており、町内自治会や子供会での体験会、大会のお手伝い、また毎月第2・4日曜日の体験会や練習会を実施しております。どなたでも予約なしで参加することができます。



養老町モルック協会 会長 他田 豊(棟梁) 養老町祖父江在住 現在養老町スポーツ連盟勤務、リクレーションほか各種資格保持。
おやつやスイーツもつくります。 お問い合わせ: 0584-32-2788 (町総合体育館) 会長または高橋まで

子どもの声 第6回

大人のみならず、町内の子どもたちにも議会を身近に感じてもらい、興味を持って頂けるよう、子どもたちの素直な意見が聞けるコーナーです。今回は町内小学6年生にお願いしました。

ぼくの楽しみは、放課後や休日に友達と遊ぶことです。しかし家の近くには、遊べる場所が少なく、養老公園や小学校など思いっきり遊べる場所は限られています。本当は自然に囲まれた養老公園でたくさん遊びたいのですが、子どもだけで遊びに行くのは難しいです。小さい子なら、なおさら難しいと思います。

そこで、オンデマンドバスの「こども無料券」や「親子無料券」があるとうれしいです。オンデマンドバスはシニアの人が乗るイメージがありますが、全ての世代の人に身近に感じてもらい、普及率を高めることで、ぼくたちも養老公園で気軽に遊べるようになるし、観光客や多くの人たちに養老町の魅力に気付いてもらえると嬉しいです。

社会科の学習で、議会では町民の願いを実現するために、話し合いが行われていると学習しました。ぼくたち子ども世代の願いも届くとうれしいです。

(養老小6年 T.Kさん)

議会ニュース

総務民生委員会 コンテナホテルを視察

11月11日、総務民生委員は垂井町にあるコンテナホテル「HOTEL R9 The Yard 垂井」を視察しました。このホテルは災害・緊急時には自治体の要請で被災地などに運ばれ「レスキューホテル」として機能する仕組みで、垂井町は災害協定を締結しています。



産業建設委員会 アセビ平スカイテラスを視察

11月19日、産業建設委員及び所属外議員は11月10日に完成したアセビ平スカイテラスを視察しました。大パノラマで、濃尾平野と伊勢湾の絶景が望めます。ぜひ皆さんも足を運んでください。



水谷久美子議員 総務大臣感謝状授賞 おめでとうございます

10月21日に町議会議員として35年以上在職し功績のあった水谷久美子議員が、総務大臣感謝状を授賞され12月定例会初日に議場にて贈呈されました。



養老こども園 議場訪問

11月28日、養老こども園5歳児32名の園児が、役場内を見学し、議場を訪問しました。議場内では事務局の説明をしっかりと聞き、質問もしてくれました。



議会だより編集特別委員会

委員長 西脇 康 副委員長 佐野 伸也 委員 野村 永一 委員 早崎 百合子 委員 岩永 義仁



古紙パルプ配合率60%再生紙を使用